



みみずく通信

京都市手話学習会「みみずく」

本部機関紙部発行

会長 石神博行

事務局 FAX075-812-6112

みみたん通信 第63号

<http://www.mimizuku-kyoto.com/>

2025年 4月1日発行

第51回耳の日記念集会

ガレリアかめおかのコンベンションホールを会場に、3月2日（日）第51回耳の日記念集会が開催されました。

第1部の式典では京都府知事や地元亀岡市長、また来賓からのご挨拶がありました。その中で京都府身体障害者団体連合会会長の福山氏から、「今、国会では手話に関する法律（手話施策推進法）がまとまりつつある。早ければ今国会中に、遅くとも今年中には可決されるだろう」との報告がされていました。

その後、各地のネットワーク委員会が1年間の活動報告を順次されました。

第2部のアトラクションでは、まず「日本ジャンプロープユニオン京都」の皆さんにより「ダブルダッチ」が披露されました。「ダブルダッチ」とは2本のロープを使って跳ぶ縄跳びで、アクロバティックな跳び方が非常に興味をそそるものでした。

次に劇団「あしたの会」によるお芝居。4人の役者さんが登壇され、ろう夫婦の日常がお芝居として表現されていました。

そして次に福引。地元亀岡の会社からの提供を受けた品々が景品に並び、当選された方々は皆喜んでおられました。

参加者は741人との発表がありました。

聴覚言語障害者とその関係者が一堂に会し、楽しく意義深い1日となりました。

来年は京都市で開かれる予定とのことです。

北支部 石神博行



目次

- | | |
|--|--|
| 1・・・第51回耳の日記念集会 | 7・・・みみずく縁の地巡り学習会 |
| 2・・・第25回京都市聴覚障害者
成人式&新年会
第20回手話フェスティバル | 8・・・補償金支給法学習会
9・・・京の手話体験学習会
10・・・第41回近畿手話通訳問題研究
討論集会
活動助成金報告 |
| 3・・・みみずく全体研修会
写真コンクール | |
| 4・・・ハングル男子と結婚して | 11・12・13・活動助成金報告 |
| 5・・・サマーフォーラムって
な〜んだ | 14・・・行事予定／お詫び／編集後記 |
| 6・・・2025サマーフォーラムを
成功させよう
スキースノーボード教室 | |



2025年1月12日（日） 京都府立京都学・歴彩館を会場に、第25回京都市聴覚障害者成人式&新年大会が開催されました。

京都府立京都学・歴彩館は、できたばかりの新しい施設で、初めて利用させて頂いたのですが、京都府立大学の施設であり、色々な利用制限もあったのですが、実行委員会が粘り強く交渉して開催に漕ぎつけました。

当日は、150名ほどの参加がありました。第1部は式典・成人式。新成人の参加が無かったので非常に残念ではありましたが、お名前を挙げてお祝いすることができました。第2部の新年大会では写真コンクール表彰式、京都聖母学院中学校・高等学校の生徒さんによるダンスや福引で非常にもりあがりました。

北支部 石神博行

第20回手話フェスティバルに参加して

『第20回手話フェスティバル』が終わり、帰宅した今、筆をとっています。筆をとると言っても、文字を入力してるだけなんですけどね（笑） 今回の発表者の内容は、どれも主張したいことがしっかり伝えられており、特に高校生、子供の部のスピーチは大人顔負けの内容でした。入賞者の皆さん、本当におめでとうございます。

ちなみに私は入賞ならずでしたが、「コンテスト」として臨む気持ちは正直ありませんでした（おいおい！）。私という存在をろう者の皆様に知ってほしい、気持ちを手話で伝えたい、ただそれだけでした。

一般の部の発表が終わり休憩中、知らない人から「（手話）はじめまして」と挨拶され、私のスピーチはとても良かったと、目をキラキラさせて感想を伝えてくれました。まさか関係者以外から感想を直接もらえるなんて想定してなかったのですが、ああ、舞台上で良かった！と実感することができた一面でした。

お忙しい中、予定を空けて応援に来て頂いた山科支部（昼・夜）のみなさん、本当にありがとうございました。会場に足を運んでくださったみみずく会員の方々、笑顔で接してくれるろう者のお友達にも、会場でお会いできて嬉しかったです。

『その活動を通じて私たち自身も向上していく』その事が一歩実現できた1日でした。

山科支部夜の部 鈴木翔悟

今年は第20回目の記念開催で特別賞がありました！

最優秀賞	下田	奈都子さん
優秀賞	荻野	志穂さん
社会福祉事業団賞	山花	晴喜さん
特別賞	小野	昌宏さん
高校生の部 最優秀賞	長井	優奈さん
優秀賞	山下	心優さん

みみずく全体研修会に参加して

今年のみみずく全体研修会の講演は、市聴障協川本悟氏の「共に生きる社会とは」。共生社会とよく耳にするようになりましたが、具体的にどんなことなのか知りたいと思い、参加しました。印象に残ったのは、「平等」「公平」「公正」の違いです。どれも同じように聞こえますが、その違いをわかりやすい絵を用いて説明してくださいました。また、世の中に根強くあるさまざまな問題について、サークル活動を通じ、仲間をつくり、学習をし、要求に繋げていくことが大切であること。そして、自分たちの問題として取り組んでほしい、と話されました。川本氏も言われていましたが、思えばみみずく会は、そういう活動を、60年以上も前から会の目的にしてきたのでした。そんなサークルを誇りに思い、これからも受け継いでいかなければ、という気持ちになりました。

午後からは、「おさえておきたい行事あれこれ」という分科会に参加しました。「自分が参加したことがある行事は呼びかけやすい」という声がありましたが、やはり行事に対して、自分なりに思い入れを持って呼びかけ、それなら参加してみたいなあ！と相手にも納得してもらうことが大切だ、という話になりました。来年度の活動に、今日の研修を活かしていけたらと思います。

山科支部昼の部 遠藤理子



写真コンクール

第19回の写真コンクール、手話関係者の部で「銀賞」を受賞した竹井です。今回は申込締め切りまでに作品をしぼりきれず、応募をあきらめました。ところが、ご縁あって実行委員会のメンバーにいらていただくこと。例年新年大会・成人式が始まる前の時間で開催される写真コンクールは静かな印象でしたが、今年は違います。会場の歴彩館の展示室はガラス張りで見えやすく、多くの来場者様が立ち寄ってくださいました。皆さんが写真をながめながら感想を語り合う姿にうれしい気持ちになりました。

なお、聴覚障害者の部の金賞は戸田啓子さん、手話関係者の部はみみずく会中京支部夜の部の山口智賀さんが受賞されました。例年、手話関係者の部はライオンズクラブさんが強い印象です。みみずく会からもたくさん応募して、新年大会・成人式と合わせて盛り上げていきましょう！

私も来年までに面白い写真撮るぞー！



中京支部夜の部 竹井友子

ハングル男子と結婚してに参加して

講演日 : 2025 年 2 月 9 日 (日) 14 時~16 時

場 所 : 京都市聴言センター

参加人数: 聞こえない人→31 人 聞こえる人→55 人 合計 86 人



今日の講演は森様ご夫妻の結婚秘話です。御結婚前の写真（今で言う前撮り）を見せて頂く所から和やかに始まりました。

御夫妻の生い立ちから結婚迄の道のりのお話です。森さやかさんのお父様は日本人、お母様は韓国人の両親を持つハーフだそうです。2つの文化が混ざりながら育てられ、感覚は日本人ですと話されていました。表情豊かで笑顔の素敵な方です。

第一印象から好感の持てる方で、旦那様の「一目惚れ」も良く分かりました。

旦那様はチョン・チャンオクさん。

壇上で緊張して、はにかんでいる姿に奥様から励まされている光景に夫婦愛が輝いて見えました。

チョン・チャンオクさんの生い立ちも詳しく紹介して頂きました。生まれた所はソウルからも釜山からも離れた光州との事です。どちらも車で5時間かかるとても自然に囲まれた中で育ったそうです。今はソウルからはKTXという鉄道で2時間程で行ける方法も有るそうです。

御二人は共通の友人の紹介で「旦那様の一目惚れ」に始まり結婚迄に至ったとの事、韓国との礼儀作法の違い、食事の食べ方の違い、手話表現の違い等いっぱい教えて頂きました。礼儀作法では正座が違います。日本の正座（女性）は膝を付き合わせて座りますが、韓国では立て膝との事。韓国衣装（hanbok: 日本ではチマチョゴリ）を着て座った姿が美しいのと、炊事や緊急時？に直ぐに立ち上げられるからだそうです。男性は同じであぐらをかくそうです。

お酒の飲み方も初対面の時や、年上と年下との飲み会の場合にも違いが有るそうです。分かりやすく、実演して見せて頂きました。その様な作法が有るんですねと驚きましたが、みんなで笑えた場面でも有りました。

ご飯の食べ方では、1回の食事の品数の多さや量もとても多いそうです。なんとキムチの種類は200種類も有るとの事です。

トイレの文化の違いにも・・・トイレットペーパーは流さず、BOXに入れるらしい・・・等。それと特に印象に残っている手話表現の違いも教えて頂きました。

日本の「好き」は韓国では→「パンツ」「親戚」は→「詐欺」、「夜の🧡👶🏻」は→「お菓子」の表現方法だそうです。

指文字表現も韓国のはと～～っても難しく思いました。まだまだ沢山お話をして頂き、全部書きたいのですが書ききれません。もっともっと聞きたかったです。次回も第2弾が有ったら是非参加したいと思います。今日、参加出来なかった方も第2弾が有った時は是非参加してみてください。2時間がとっても短かく感じました。

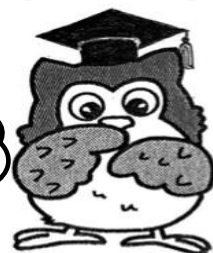
森さやかさん、チョン・チャンオクさんお忙しい中、時間を作って頂き有り難う御座いました。

上京支部ペンペン草 北澤まさ子

全通研サマーフォーラムってな～んだ？

もっちーの

みみたん
豆知識



昭和 38（1963）年京都で全国初となる手話サークル「みみずく会」が結成され、ろうあ者との関わり自然にというより意識的に、通訳を行っていった。昭和 40 年 11 月、府立ろう学校高等部の授業拒否事件を経て、翌 41 年 11 月、第 1 回全国ろうあ青年研究討論会が京都で開かれ、みみずく会の存在が全国のろう青年たちに衝撃と感銘を与えたようだ。これら二つの事件？に関わった手話通訳メンバーで、昭和 42 年 6 月みみずく通訳団を結成した。

昭和 43 年福島県で第 17 回全国ろうあ者大会が開催され、並行して開かれた第 1 回全国手話通訳者会議において、かつてはお互いバラバラに通訳活動をしていた人たちが一堂に会して意見を戦わせた。ことに、京都のみみずく通訳団の討議に基づいて整理された、向野先生の「通訳実践活動の立場」そして、これを受ける形でろうあ者の権利保障、団体活動の現状や手話通訳の意義をどうとらえるのかといった内容を、みみずく通訳団を代表して伊東雋祐先生が「通訳論」として発表した。この通訳の有りかたや、考え方が各地に持ち帰られ、その後全国での手話通訳者の理念として、今も色あせないものとなっています。伊東先生は、全通研の初代委員長です。

その後長野で開催された第 5 回全国手話通訳者会議では「みみずく」の会目標などを紹介し、手話サークルの全国連絡会、手話通訳者の全国組織の必要性が提案され、昭和 49 年、第 7 回の青森集会で全国手話通訳問題研究会が発足し昨年 50 年を迎えた。昭和 51 年、京都で全国集会を開催するにあたって、まず地元組織づくりとして、1 月 31 日、2 月 1 日両日にわたって学習会、31 日に京都手話サークル連絡会、1 日に全通研の京都支部を結成し、同年 8 月、第 9 回大会は、ろうあ者大会と分離して単独 1 回目の全国手話通訳問題研究集会が京都で開かれ参加者は 1500 人を超えた。毎年、問題を積み上げてきたものが参加者の増加で難しくなり、夏集会と冬集会に分かれた。第 1 回全通研討論集会在大阪で開催されたのが、昭和 60 年、それから平成 26（2016）年第 30 回集会（大阪）で終了し、以後 10 年前から第 1 回サマーフォーラムに統一された。全通研の夏集会は今年 8 月 8 日～10 日の 3 日間 41 年ぶりに京都で開催。

こういった流れで、サマーフォーラムは「みみずく」とは切っても切れない深い関係がある。聞こえない人も聞こえる人も、みんなが集会に参加して学び合おうという集会です。因みに昭和 59 年 8 月、京都で開かれた第 17 回集会は参加者 2200 人でした。（通研創立 10 周年でした）。

今年の大会のテーマは「平和と人権はいのち 仲間と共に京都から」今年は昭和 100 年、ヒヤクの年、そして巳年、ヘビは脱皮しないと生きられない。古い殻を脱ぎ捨てて、みみずく会も大いに飛躍していきましょう。

持田 隆彦

「2025 サマーフォーラムを成功させよう！ みんなの「手」で！」に参加して

今回参加してあらためて、手話はすごい楽しいと実感。そして学ぶ仲間が沢山いる事。臆せずこれからも頑張ろうと思いました。サマーフォーラム楽しみです。

山科支部（夜）小山通子

初めて場面通訳を体験しました。今回は処方箋ということもあり、専門的な手話の登場に、まだまだ自分の知識が足りなさを感じました。脇を空けて、大きく手話をする事で、相手に伝わりやすい手話が出来ることを学びました。

山科支部（夜）高尾真由美

“全通研、京通研”名前は知っていても実際のところ何も知らずにいたので お話を聞けて団体を知るいい機会になりました。場面通訳体験では 会話のスピードや話の中に出てくる人名や指文字につまずきボロボロでした。日時や数字をしっかりと表すこと、手の振る位置など聞いたことに加えて、単語を覚える などたくさんの課題が見つかりました。

山科支部（夜）大村久美子

各都道府県の取り組みのまとめ役や手話通訳統一試験の基準づくり等、多岐にわたる仕事をされている事がわかりました。統一試験の場面通訳ビデオを初体験。読みとりはやはり難しい、声に遅れないように手話をするのも難しいと改めて感じました。会話と通訳の違いを痛感しました。これからも、お話の中でもありましたように、「聞こえない人の生の声」を大切にしていきたいと思います。今年8月のサマーフォーラム、みんなで盛り上げていきましょう。

山科支部（夜）西田弘美

全通研は敷居が高いといったイメージは私もありました。様々な環境問題について取り組む姿勢もあり、岩谷さんの手話を身近に広めようとする行動力には関心しました。実は、私が手話を学び始めた時に最初に参考に使っていたのが向日市の手話動画でした。とても参考になるのでオススメです！

山科支部（夜）鈴木翔悟

スキー スノーボード教室に参加して

本年度のスキー スノーボード教室は昨年と同じ石川県の白山一里野温泉スキー場で1月18日～19日 1泊2日で行いました。

2日間共天気 積雪 に恵まれ楽しみました。

スキーだけでなく 環境庁の施設 ブナオ山観察舎に行って かんじきハイキング 雪山の動物の観察を楽しむ参加者もありました。

食事は熊肉料理に舌鼓をうちました。



右京支部 山崎邦夫

みみずく縁の地巡り 学習会

「ゆかりの地」第2弾 講演会に参加して

11月18日（月）19時から京都市聴覚言語障害センター地域交流室で第2弾「ゆかりの地」講演会が開催されました。参加者は23名。第1弾には不参加だったため第2弾の内容が理解できるか心配でしたが、そんな心配は無用でした。実に聞き応えのある内容でした。船岡山公園での写生大会ボイコットが行われた理由、三・三声明への流れを詳しく聞くことができ理解が深まりました。京都市ろうあセンター設立についてや当時のみみずくの活動の様子など次から次へと出てくるエピソードに思いを馳せました。みみずくの歴史はろうあ運動の歴史でもあること、持田さんの柔らかい物腰と語りの中に熱いものが溢れていることを感じられる講演会でした。



講演会場で物販もあり、「京都市手話学習会『みみずく』創立40周年記念のつどい【基調報告につける薬】」を購入しました。こちらの書籍も「みみずく」の歴史や当時のろうあ者の様子がよく分かり、多くの方に手に取っていただきたいと思いました。

中京支部昼の部 前田彩圭



講演会「ゆかりの地」第3弾

持田隆彦氏の講演「ゆかりの地」の第3弾が、1月27日（月）19:00～京都市聴言センターで行われました。参加者は23人（みみずく20人、聞こえない人3人）でした。

講演内容は、「丹後屋旅館（向野先生のご自宅）」「京都第二赤十字病院」「京都府立ろう学校」「盲啞院」などの場所にまつわることをお話いただきました。最後は時間切れとなり、ご用意いただいていたお話を割愛して講演終了となりました。またの機会に、ぜひ続きを聞きたいです。



歴史的なことも含めて膨大な知識・情報が持田さんの頭の中に入っているのですね。私も新しいサークル会員さんに教えてあげられるように、もっと勉強が必要だと感じました。

伏見支部夜の部 山岸登美子



補償金支給法学習会

2025年3月1日（土）14:00～16:00 京都市弁護士会館：於

被害者とともに歩む京都の会事務局長の田中勇吾氏による「歩む京都の会」の設立経過の報告、吉田航共同代表（京都府聴覚障害者協会会長）のあいさつ。続いて、旧優生保護法被害者弁護団（京都）の和田浩弁護士による「補償金支給法について」（2025年1月17日制定）講演。とても分かりやすく、微に入り細に入り、私でも分かった。

最高裁判決（2024年7月3日）優生保護法に基づき不妊手術を受けた者又は配偶者が、国に対して、国家に賠償請求訴訟を提起し、それに対して憲法13条による違反。立法当時の社会状況を考えるも正当とは言えない。本人の同意を要件とする不妊手術についても、本人に同意を求めるということ自体が個人の尊厳と人格の尊重と精神に著しく反し許されない。

憲法14条1項「法の下での平等」と訴っているのに特定の障害を有する者、配偶者が特定の障害を有するというだけで手術の対象者と定めて不妊手術を行うことに正当な理由があるとは認められない。憲法上保障されている権利を違法に侵害するが明白。本件の規定に係る国会議員の立法行為そのものが違法だ。

続いて海外の補償法制定の話になり、1998年11月、自由権規約委員会が強制不妊の対象となった人達に補償について、法的措置をとることを勧告。そして2019年一時金支給法成立・施行。そして、一時金320万円（見舞金的性格）を支給された。人工妊娠中絶を受けた方々には、200万円支給。しかし、中絶・手術を受けた配偶者は対象とされていない。

今回の法によって優生手術を受けた方及び、その配偶者（特定配偶者）特定とは手術日から公布日の前日までの間に優生手術を受けた方と婚姻（事実上のものを含む）をしていた方。また、手術日の前日までに優生手術を受けることを原因として離婚（事実上の婚姻解消を含む）をした方も補償の対象となり、手術を受けた方は1500万円、特定配偶者は500万円。優生手術を受けた方は、補償金とは別に一時金320万円の支給も受けられる。

優生手術を受けた方のみが対象で特定配偶者は対象にならない。手術を受けた方が請求前に亡くなった場合、遺族はこの一時金は請求できない。補償金の請求及び支給手続きは、都道府県知事を経由して、内閣総理大臣に請求する。優生手術を受けた医療機関の名称や所在地がわからない。年月日が不明。手術を受けた当時の状況及び優生手術を受けた経緯など、書類の添付が必要だが、特別な事由があると認めた場合には添付書類を省略させることができる。医師に手術痕を見せるなども不要などなど、過度な負担となる場合には都道府県において、公用照会を実施するなど、請求者の負担軽減となるよう努めるとなっているようだ。

休憩後、質疑応答。最後に日本自立生活センター（JCIL）の香田晴子共同代表の閉会の言葉で締め括った。

昨年7月、最高裁判決を受けて旧優生保護法は違憲である事が認められ、すべての被害者に補償金支給法を知ってもらい、一人でも多く被害者に行き渡るために開催しました。

「歩む京都の会」は、今後の動きとして京都府に対して相談窓口の整備などの要望書の提出、京都府知事との懇談も考えています。また旧優生保護法で社会に植え付けられた優生思想が人の心に存在し続けています。少しずつこの思想を刈り取って、いつかなくなることを願って終わります。

会場参加者 45 名、オンライン 34、複数視聴もあり 50 名を超えているので、合計 100 名前後の参加者と発表があった。

持田 隆彦

京の手話体験学習会

2024年12月8日(日)

十石舟コース

人生で初めての船旅！！乗った人数が多かったので、船が少し傾いた時はドキドキしました。所々に真っ赤に染まった自然を楽しみながらふと見ると、写生や釣りをしてる姿も…。資料館では川の歴史について触れました。大阪と京都を結ぶための大切な『道』だったんですね。現代は新しい建物や道路が建設されていますが、自然は末永く残って欲しいと願うばかりです。



山科支部夜の部 鈴木翔悟

界隈コースと交流会



とても寒い日でした。集合場所の京阪中書島駅でみんなが集まるまで日の当たる所で待っていました。聴障協伏見支部の松島さんのフリップを使った説明はクイズを交えて楽しく伏見の歴史を勉強することが出来ました。龍馬ゆかりの寺田屋を見学したり、午後からは伏見区総合庁舎で伏見地域の名所などの手話をグループごとに考えるなど有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

中京支部 川島浩子

京都市手話学習会「みみずく」目的

手話を学んで、ろうあ者の良き友となり、全ての人に対する差別や偏見をなくしていくために努力し、その活動を通じて私たち自身も向上していく

第41回近畿手話通訳問題研究討論集会に参加して

2024年12月14日（土）～15日（日）奈良県社会福祉総合センターにて、第41回近畿手話通訳問題研究討論集会が開催され、参加しました。

全体集会では「第30回近畿けいわんフォーラム～7 けいわんって なあに？～」のテーマで、各県からの取り組み報告を映像で視聴した後、奈良県手話通訳問題研究会の健康対策班から「けいわん」の歴史や予防などについて寸劇を交えての話がありました。京都としての取り組みが無く残念に思い、改めて、京都三団体で相談しながら進めていく必要を実感しました。

全体集会の後、各分科会に分かれ討議。私は、第3分科会「手話サークル」に参加し、「地域で聴覚障害者と共に歩む手話サークルとは」「手話サークル運営の在り方」について話しました。

各サークルの現状報告（会員数、参加者数、ろう者の参加数など）の後、悩みなどを話しましたが。「手話サークルに参加する会員の高齢化」「役員のなり手が無い」「ろう者の参加が減少している」など、どこも同じ悩みを持っていることが分かりました。そして、ろう者からは「サークルに行っても聞こえる人が声だけで話しているのではつまらない」という意見が出されました。これはどこのサークルでもある永遠の課題でもあります。どうすれば解決していけるのか、聞こえない方々とも一緒に考えていく必要があると考えます。

高瀬 るみ子



活動助成金報告

<<上京支部報告>>

2024年12月21日（土）クリスマス会 聴障協・みみずく夜・ぺんぺん草合同のクリスマス会が今年も『くらしの工房』にて20名の参加で行なわれました。13時から開始です。「12時から会場準備をします。お手伝い可能な方は・・・」の声かけにいつも決まってほぼ全員集合です。12時からわいわい(^.^)ガヤガヤ(*^^)vと始まります。

部屋の飾りつけやお盆にお菓子を盛る人・お茶コーナーの準備を楽しそうにする人ですすでに開始前から盛り上がります。13時開始からしばらくはコーヒー・紅茶お菓子でまたまた『おしゃべりタイム』です。ゲームをする人も見る人も皆真剣です。アットホームなクリスマス会になりました♡♪



上京支部 岡本值得子

<<西京支部報告>>

西京支部（木曜）クリスマス会 12月22日（日）午後 1:30～3:30 境谷会館

参加人数：火曜 14 名、木曜 9 人、聴障協 9 人、合計 32 人

各テーブルでケーキやお菓子を食べて、皆で楽しく歓談しました。

恒例の出し物：みみずく木曜例会がトップバッターです。

出し物は「トナカイの糞ころがし」これは新聞紙を固く丸めて作った赤・青・黄色のボールを、ひっくり返した傘をめがけて投げ入れ、入ったボールの数を競います。次は火曜例会です「私は誰？どこの県？何のスポーツ？ここは何処？何の料理？」等のテーマがあり、4 グループが小芝居で演じて当ててもらうクイズです。



聴障協は「ジェスチャーゲーム」です。動物がジェスチャーしているのですが、何の動物が何をしているのかを当てます。今年は交流部が用意したプレゼントを貰い、皆で見せ合いました。

最後に全員で記念写真を撮りました。今年もとっても楽しいクリスマス会でした。

西京支部 天野啓子

<<伏見支部報告>>

2025 年 1 月 17 日（金）いつもの場所、醍醐交流会館の和室でお楽しみ会を開催しました。お子様も含め 20 人近くの方が参加されました。

美味しいドーナツと飲み物やたくさんのオヤツをいただきながらろう者の方々にオヤツの単語を教えてもらい、楽しく会話が弾みました。ビンゴゲームで野菜の単語を表現し、たくさん教わりました！そしてビンゴでお菓子を、ゲットで笑顔でいっぱい時間でした。お子様も手話に興味を持たれ会話が自然にできるよう広まれ！と思いました。

ありがとうございました。



伏見支部 平尾千鶴子

<<南支部報告>>

クリスマス会

12月20日(金)みみずく南支部と市聴覚障害者協会南支部との合同で、クリスマス会を行いました。4つのグループに分かれて、クリスマスカード作りやゲームなどをして交流をしました。おにぎりや豚汁もみんなで食べながら、箸での豆つかみやボールうちわりレーなどの競技は、大人も子どもも、ろう者も健聴者も大いに楽しみました。

動物ビンゴゲームでは、景品あり。みんな自分が書いた動物が出るニッコリ。リーチになると、「リーチ、リーチ」とドキドキし、そしてビンゴになると「ハイ、ビンゴ」と手を挙げて嬉しそうに景品、と言っても、プレゼント交換で持ち寄ったプレゼントを選んでいました。

サンタ姿に変身した市聴協の山本さんはとっても衣装がよく似合っており、子どもたちにプレゼントを手渡すと、子供達は大喜びでした。

最後のケーキ手作りは、4グループとも個性あふれるデコレーションケーキが出来上がりました。年齢もバラバラでしたが、久しぶりにみんなで、楽しめたクリスマス会でした。

南支部 西村嘉子

<<中京支部昼の部報告>>

中京昼の部は、2025年に創立35周年を迎え、記念行事として「いこいの村見学」を企画しています。

その事前学習の為、12月6日 京都聴覚言語障害者福祉協会後援会会長 竹谷明氏をお迎えし、講演をしていただきました。

ろうあ運動の歴史や、なぜ「いこいの村」ができたのか、設立されるまでの苦労話や今後の課題など、分かりやすくお話ししてくださり、大変勉強になりました。また、当日はご夫婦でいらっしゃいましたので、お二人の馴れ初めなど、プライベートな部分も垣間見られ、とても楽しい講演会となりました。

中京支部昼の部 山口智賀

<<中京支部夜の部報告>>

2024年12月17日(火)クリスマス会を開催しました。

中京支部夜の部は、毎月第3週目を市聴言センターで開催しています。この日はセンター3階の若木寮から仲間がたくさん遊びに来てくれます。また、親子で参加してくれる人もいて、第3週目はいつも以上にぎやかな例会になります。

クリスマス会の内容は「みんなで楽しむこと」を第一にチーム戦で行う簡単なゲームを考えます。今年は毎年人気のパズルと輪投げ、そしておたまりレーを行いました。手話を使って順番を決めたり、作戦を練ったり……。のんびり楽しむことができました。

助成金のおかげでたくさんお菓子を購入し、勝ち負けに関係なく両手いっぱいのおかしを参加者に配ることができました。



中京支部夜の部交流部長 竹井友子

<<山科支部昼の部報告>>

お楽しみ会 12月4日

いつもの例会場が発表の舞台へと変身！

まずは、Xmas 風生け花からスタート。生けたお花はプレゼントに！次は、花つながりの花のマジックから、皆さんから歓声が上がり大盛況！

そして、しっとりとしたハーモニカ独奏から始まった手話歌、そしてキラキラのマツケンサンバへと変貌！一人手話芝居は、表現に引き込まれつつ内容に大笑い！

紙芝居「鶴の恩返し」は、誰一人声を出すことなく魅入るほどの完成度！



韓国太鼓（チャンゴ）の演奏は、カラフルな衣装を身に纏いリズムカルにバチを操りながらステップを！手話歌クイズは、読み取り練習ができる上に楽しい一石二鳥のクイズです。「ああ歌詞は出てくるのに題が分からん」・・・

最後は、マイムマイムで締めくくり。早くも来年のお楽しみ会が楽しみです。

山科支部昼の部は、いつもの例会はゆったりとしていますが、ここぞという時には底力を発揮する素敵な皆さんが集っています。

山科支部昼の部 靄池貴代子

<<左京支部報告>>

防災学習会 2025年1月28日(火)

1月28日(火)例会で、防災学習会を行いました。聴障者から「ハザードマップの見方を知りたい」と聞いた事がきっかけです。

講師は左京区役所防災担当の中出浩司氏にお願いしました。

初めに、過去の京都市での災害を振り返りました。

そして、今後の災害に対する備えを学びました。地震と水害のハザードマップの見方、家庭での備蓄品や災害時の持ち出し品、マイタイムライン(災害に備えて自分が取るべき行動をあらかじめ決めたもの)の考え方等、具体的な準備や心構えを知ることができました。

また、段ボールベッドも体験しました。簡単に組み立てられ、座ったり寝たりして丈夫だと感じました。

質疑応答では、多くの質問や要望が出されました。災害に対する関心はあるけれど、尋ねる所がわからない人が多いように思いました。

参加者には非常食(味付きのアルファ米)を持ち帰ってもらいました。

災害に対する備えについて、初めて知った事も多くあり、いろいろ学べた学習会でした。

左京支部 有吉美千代



行 事 予 定

4月 6日(日) 「誰のための手話?日本手話の文法って?」

4月20日(日) 京通研 定期総会

4月27日(日) 第12回 京都ろうあ者大会

4月29日(火・祝) 2024年度みみずく会定期総会

お詫び

第62号みみたん通信

- ・ 1ページ「新年あいつさつ」は「新年あいさつ」でした。
- ・ 3ページ 映画「私たちに祝福を」を観てのタイトルは「わたしたちに祝福を」でした。
- ・ 10ページ 「みみずく縁の地巡り・学習会」10行目「1年前に・・・」は「1年前から『第10回ろうあ者大会』開催に向けて準備のため実行委員長として心身ともに：でした。

記載に多数の不備があり申し訳ございませんでした。



編 集 後 記

みみたん通信63号に原稿を寄せてくださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。



4月に入り、新生活をスタートさせる方もいらっしゃるのではないかと思います。

新しい世界に飛び込むのはちょっぴり勇気があるものですが、ドキドキの裏側にはワクワクする気持ちも隠れている事が多いように私自身感じる事が多いです。

手話のお勉強も楽しみながら、これから新しく始めるドキドキワクワクする事を楽しみながらチャレンジしてみてくださいね♡

次回のみみたん通信も皆様より楽しいご寄稿をお待ちしております♪
どうぞよろしくお願い致します!!

中村清乃